

みんなで語ろう

-障害者は**排除**される存在なのか-

2017年度CIL豊中市民講座は、「障害者の生命の尊厳」をテーマに、各回をライブステージ毎（出生前・教育・学校生活・地域で生きる）に分けて、議論を重ねてまいりました。

今回は締め括りとして、神奈川県からパネリストをお招きし「ともに学びともに生きる」インクルーシブな地域社会を目指し、私たちはどう取り組んでいくべきか、語り合う会とし、タイトルを「みんなで語ろう 障害者は**排除**される存在なのか」としました。

なお、パネリストは、普段あまりお話を聞く機会が持てない方々ばかりです。その中からどんなお話が飛び出すやら、非常に楽しみです。みなさま、是非ご参加下さい。

シンポジスト

- 依田 雍子さん（神奈川県手をつなぐ育成会会長）
- 菊池 恒成さん（独立行政法人国立病院機構刀根山病院療育指導室）
- 徳山 辰浩（NPO法人CIL豊中理事長）
- ビデオ出演にて当事者のみなさん（出演者多数）

コーディネーター

- 上田 哲郎（豊中市障害者自立支援センター管理者）

日時

2018年2月18日（日）

13時30分～16時30分（受付開始：13時00分）

場所

蛍池公民館 第2集会場
（阪急・モノレール 蛍池駅隣接ビル4階）

参加費

無料

申込み

不要 当日、直接会場にお越し下さい。

お問合せ



NPO法人CIL豊中
豊中市障害者自立支援センター
電話：06-6857-3601
FAX：06-6857-3602
メール：info@ciltoyonaka.com

（担当：大岩・大東）

プログラム

- 13:30～13:40 開会 主催者開会挨拶
- 13:40～15:00 シンポジウム (DVD上映含む)
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～16:25 質疑応答
- 16:25～16:30 主催者閉会挨拶 閉会

プロフィール

▼シンポジスト

■ 依田 雍子さん (神奈川県手をつなぐ育成会代表)

- ・45歳の一人息子は広汎性発達障害&精神障害者手帳2級所持
 - ・2008年 神奈川県手をつなぐ育成会会長
 - ・その他、関係する行政機関の各種委員、社会福祉法人の理事・評議員、施設オンブズマン、民生委員等を受任
- 私自身の父親が法曹界の人間であったことから、先の大戦後日本にもたらされた人権思想について、子どもの頃から耳にする機会が多くあった。やがて息子の誕生により障害児者の親の会に関わるようになったが、ごく自然な流れで常に人権という視点を基本に据えて考え、活動し続けているつもりでいる。

■ 菊池 恒成さん (独立行政法人国立病院機構刀根山病院療育指導室)

- ・社会福祉士、保育士
- ・2008年 九州保健福祉大学卒業 独立行政法人国立病院機構松籟荘病院 (現：やまと精神医療センター) 児童指導員採用
- ・2011年 独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院
- ・2014年 独立行政法人国立病院機構刀根山病院 (主任児童指導員)

■ 徳山 辰浩 (NPO法人CIL豊中理事長)

- ・1977年 事故で頸髄損傷
 - ・2002年 NPO法人CIL豊中理事長就任
- 15才の時に事故で頸髄損傷になり3年間入院。退院後に当団体初代代表と出会い、当事者スタッフとして活動に参加する。措置から契約へと変わる福祉の変革に対応するために、2002年、任意団体からNPO法人として再出発を機に理事長に就任する。地域密着の自立生活センターとして、相談支援・介護・看護等活動を通じて障害者の地域生活をサポートしている。